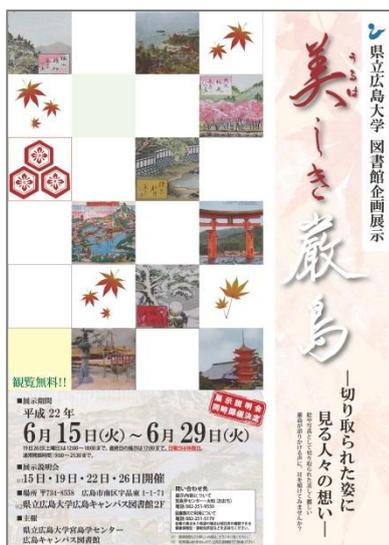


平成 22 年度 宮島学センター企画展示報告

- 期 間：平成 22 年 6 月 15 日～6 月 29 日
- 会 場：県立広島大学広島キャンパス図書館
- テーマ：「^{うるは}美しき厳島—切り取られた姿に見る人々の想い—」



平成 22 年度の図書館企画展示は、学芸員養成課程の授業科目を受講する国際文化学科の 4 年生 3 名、3 年生 3 名が担当し、展示計画の立案、展示資料の選定、図録やキャプションの原稿作成、展示作業などを行いました。

学生たちは事前準備の一環として広島市文化財団の学芸員さんから指導を受け、資料の扱い方や展示計画、より見やすいキャプションの作り方などを学びました。また、宮島ではさまざまな場所で取材し、地元の方々から聞き取り調査を行って、展示に反映させました。

展示ケースの内容は次のとおりです。

序章 往来—絵・人を運ぶ—

① 大阪商船

第一章 印刷—制作状況・技・模様—

② 印刷

③ 絵図や絵はがきの「神紋」

④ 絵図の鑑賞

第二章 建造物—目に見えるもの—

⑤ 千畳閣

⑥⑦ 五重塔

⑧⑨⑩ 大鳥居

⑪ 石燈籠

第三章 文芸・神事—目に見えないもの—

⑫ 和歌付き絵はがき

⑬ 和歌・漢詩

⑭⑮ 神事

期間中に学生による展示説明会を 4 回おこない、約 540 名の方が来場されました。

展示を担当した学生からは、「展示に向けて調べていくなかで、厳島をより深く感じる事ができた。絵図や絵はがきなどに込められた人々の想いをくみ取っていくのは楽しかった」という声も聞かれました。



展示説明の様子



事前調査の様子